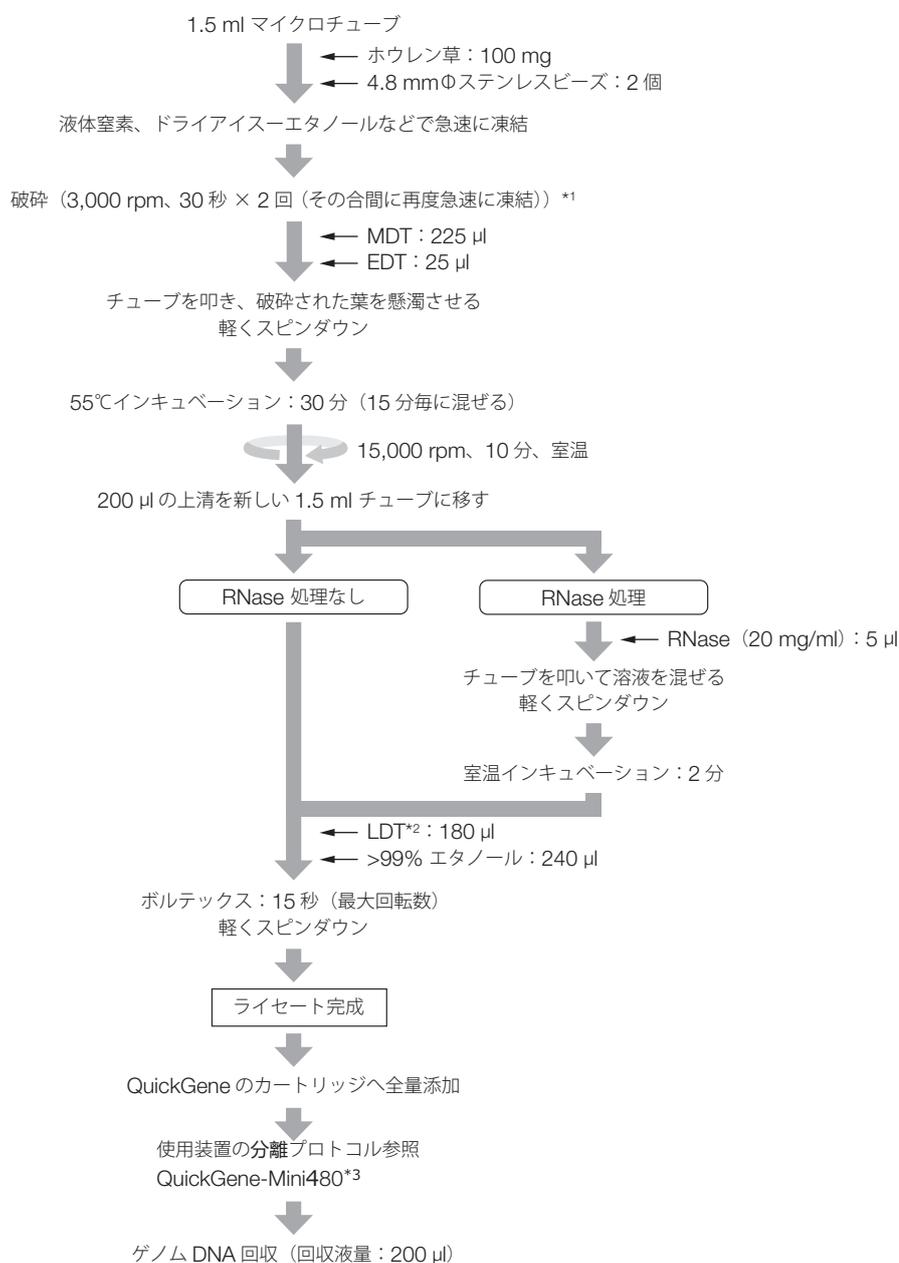


ホウレン草からのゲノムDNA分離

プロトコル



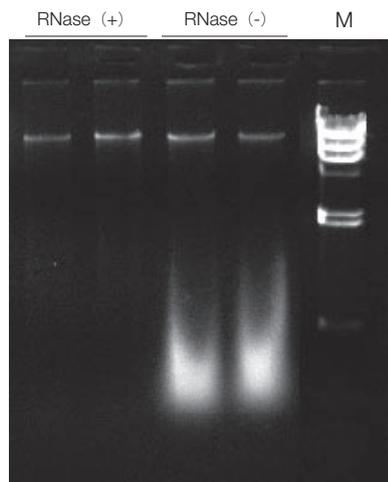
*1 MS-100 (トミー精工) を破碎に使用した。

*2 LDT 添加後沈殿が生じたら、数分間 70°C インキュベーションして沈殿を溶解した後、>99% エタノールを加えてください。

*3 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

電気泳動図



電気泳動条件：1% アガロース / 1 × TAE

M：λ - *Hind* III

ゲノム DNA の収量

RNase (+)	3.6 μg	4.0 μg	2.8 μg	6.9 μg
RNase (-)	39.6 μg	14.8 μg	44.8 μg	52.0 μg

タンパク質の混入：A260/280

RNase (+)	1.94	1.87	1.80	1.97
RNase (-)	2.22	2.16	2.24	2.24

カオトロピック塩の混入：A260/230

RNase (+)	1.76	1.89	1.77	2.04
RNase (-)	2.24	1.99	2.26	2.29

その他

データなし

共通プロトコルサンプル

データなし